

修学旅行新聞

法人協会 千代田区千代田1-17-1 (NK) 0631
財団法人 東京都 03(5259) 00160
旅行研究 前田 03(5259) 00160
所 101-0054 錦町1-17-1 (NK)
発行人 田代 00160-7-36337
全国 振替

第15回 全国修学旅行研究大会が開催される

第十五回全国修学旅行研究協議会では、班別別行動、自主研修、航空機利用の問題点と進め方などを話し合い、旅行連合委員会・財団法人全国修学旅行研究協議会、後援・文部省、都道府県教育長協議会、近畿二府四県教育委員会、西宮市教育委員会、全日本中学校長会が、十一月二十日午後一時から、兵庫県西宮市フレンテホールで開催され、近畿二府四県をはじめ全国各地から三百余名が参加、四時半盛會に閉会した。

大会は研究主題「体験を重視し、生きる力を育成する修学旅行」に基づき、別記の二校が研究実践を発表、

- ◆東智之指導主事の講演 1両校の実践について
- ◆計画・実践とも優れた修学旅行について
- ◆参考になる点が多い



十一月二十七日(金)十時三十分から水戸市市民会館で、関東地区五県を中心として約二百名が参加、中学校二校による実践発表と、研究協議会が開催された。

水戸市立千波中学校長(水戸市立千波中学校)の司会で行われ、前田寛全修協事務局長の挨拶、来賓の茨城県教育委員、茨城県教育庁指導課中崎和彦指導主事による指導講演、日上市立坂本中学校校長の挨拶、特別活動と修学旅行の位置付け、時代の要請に「自ら学ぶ態度を育てる」の育成、学ぶ意欲や態度を育てる方策について、事例をあげての発表と提案であった。統一重なる助言がなされた。最後

財団法人全国修学旅行研究協議会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

「主体的に活動し自ら学ぶ修学旅行」

第三十四回関東地区公立中学校 修学旅行研究発表会 開催

十一月二十七日(金)十時三十分から水戸市市民会館で、関東地区五県を中心として約二百名が参加、中学校二校による実践発表と、研究協議会が開催された。

風紋

奥美濃明宝に「せせらぎ街道」と名付けられた道がある。旧小学校の木造校舎を利用した村立博物館には、山村生産用具や人生儀礼用具など、国の重要有形民族文化財が展示されている。



晴明丘南小学校 (二面に作文)

主張

新学習指導要領への期待

文部省は十一月十八日、二〇〇二年度から実施されることになっている完全学校週五日制に合わせた、小・中学校の学習指導要領案を発表した。

この学習指導要領を基本として行われることとなる教育課程の改訂は、明治五年の学制発布、昭和二十二年の六・三制による新学制の実施に次いで三回目の教育改革になるといわれる。

小・中学校の学習指導要領の全面改訂は過去五回行われてきている。一九五一(昭和二十六年)・五八・六(昭和二十七年)・七九・八(昭和三十三年)・八八・九(昭和四十三年)の各改訂毎に、社会情勢なども反映してそれぞれ特徴づけられている。例えば道徳教育の充実や道徳の時間の増設、社会科の歴史での新話の取り入れ、生活科の新設などであるが、特に一九七七年(昭和五十二年)改訂の指導方法を具体的に

「ゆとり」の時間、健康、体力、生きる力、心、意欲、思考力、表現力、コミュニケーション能力、国際理解、情報・環境・福祉、健康というテーマを示す

「ゆとり」の時間、健康、体力、生きる力、心、意欲、思考力、表現力、コミュニケーション能力、国際理解、情報・環境・福祉、健康というテーマを示す

に例示して、分かる授業を勧めることが求められる。例えは国際理解を勧めること。教育課程の審議会の答申に沿って、教科の枠を超えて学び方を身につけるための「総合的な学習の時間」が新設されたこと。中学校の選択授業を拡大し、学校が自由にカリキュラムを編成できる部分を広げること。教育内容が「生きる力」を育成する

「ささやきの小径」は夢を誘う道だ。春にはあせびが美しい花を開く。元興寺近くの奈良町には「やすらぎの道」があり、そぞろ歩きの人達を和ませる▼名は体を顯すという。地球にやさしい環境保全が叫ばれる今日、歴史街道だけでなく、これらの心に豊かさをもたせたい。歴史街道だけでなく、これらの心に豊かさをもたせたい。

教育の窓

新しい学習指導要領の案が示された。平成十一年(二十一世紀)に向けてのこれからの学校教育の方向性を示すものである。案とはいえ、告示されるものと大差はないと考えられる。主な内容について「総則」からなぞってみたい。

一 教育課程編成の一般方針

ここでは、大きく二点に

針

第一は、現行の道徳教育の目標と教育課程の編成に当たり、人間として調和のとれた育成を目指し、学校、地域の言葉を付加するなどして、実態、生徒の発達段階や特性等を考慮することを述べ、識してもらえらるるよう、全体的にすっきりと整理され

教育活動の推進に当たっては、「各学校において、生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実」に努めている。

新しい学習指導要領案

東京農業大学教授

前文部省初等中等教育局主任視学官

渡部 邦雄



た。さらに、今回は、ボラ方針は、「生きる力」の内容を各側面から強調したものと、二 選択教科の内容等の取扱い、三 総合的な学習の時間

学年は二以上、三学年は二以上とし、各選択教科の授業時数は一学年は年間三十単位時間以内、二、三学年は七十単位時間内の時数を定めるとしており、全教科が選択の対象となる。

三 総合的な学習の時間 新設されたこの時間は、各学校がその実態に応じて創意工夫をこらして教育活動を行うものである。ねらいは「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること」○学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育成すること、自己の生き方を考えることができるようにすることである。このねらいを踏まえ、「横断的・総合的な課題(国際理解・情報・環境・福祉・健康など)」「生徒の興味・関心に基づく課題」「地域や学校の特色に応じた課題」などの学習活動を行うのである。その際、自

や地域社会との連携をあげりながら、選択教科に充てられている。学校週五日制の実施とともに、学校と家庭や地域社会の教育機能や役割を見直しながら、心と体の健康づくりを目指している。以上のように、この一般

いづれの場合も、生徒の特性等に応じること、学校や生徒の実態を考慮すること、生徒の負担過重にならないことなどに留意しながら、各学校が適切に指導計画を作成することになる。

授業時数が各学年七十単位時間以上で、上限が一学年から順に百、百五、百三十一単位時間を充てられていること、充実した授業のために、指導計画の作成の準備が緊急の課題となる。

修学旅行生の作文

《心に残る修学旅行》

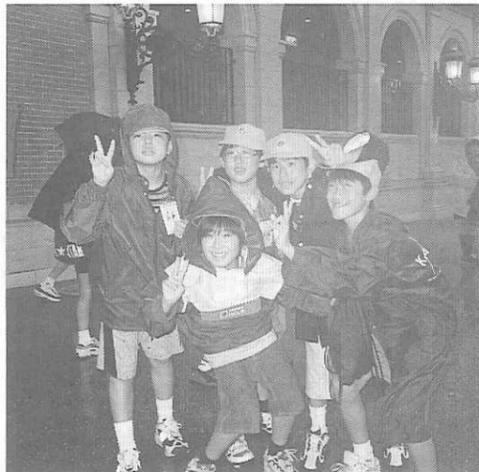
晴明丘南小学校

小林 史明

家を出る時から、雨が降り出した。雨の志摩スペイン村の遊園地は、初めて。折りたたみの傘を持つての行動

も慣れていない。あまり気が乗らなかつた人に説明が進まなかつた。室内ジェットコースターでは、傘や帽子が落ちないように座席と背中を押し込まなければならない。二、三度目の二回は全員で乗った。このやり方で、多

時ばかりは、自分で思う存分買物や遊ぶことができた。もちろん自分の物も忘れなかつた。新しい自分の発見を感じた。これからの自信を持ってがんばれ!



雨の志摩スペイン村の遊園地は、初めて。折りたたみの傘を持つての行動も慣れていない。あまり気が乗らなかつた人に説明が進まなかつた。室内ジェットコースターでは、傘や帽子が落ちないように座席と背中を押し込まなければならない。二、三度目の二回は全員で乗った。このやり方で、多



10/7 (水)	難波	上本町	志摩磯部	スペイン村(昼食)	賢島
	8:34	11:33	12:00	12:20	16:20
			志摩磯部	賢島	賢島別館
			16:40	16:47	16:59
					19:00~マリンランド夜の水鏡
10/8 (木)	賢島	鳥羽	真珠島	鳥羽水族館(昼食)	難波
	8:22	8:51	9:20	10:20	10:30
			あおぞら		
			14:01	16:29	

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

箱根高原ホテル

〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり。

奥日光高原ホテル

〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

—修学旅行の楽しいお食事—

箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-0407 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121 ☎0460(2)2221(予約センター)

東京コマ旅行会館は第8回優秀防火建築表彰で建設大臣賞を受賞いたしました。東京でのお泊りは安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL.(03)3585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館